

多機能遮熱塗料

BOT new SP
ビーオーティー

施工要領書

ver. 20140701

BOT株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山5-4-35
TEL:03-6240-9836 FAX:03-6450-5416

BOT new SP 施工要領書

～ ビーオーティアー ニューSP ～

窯業建材面

コンクリート及びALC下地等(吸水性のある塗装下地の場合)

屋内、屋外施工

1. 使用材料

塗料名	商品名	特徴
下塗り	BOT SP シーラー (水溶性)	<ul style="list-style-type: none"> ・BOT SP専用シーラー ・各種下地および旧塗膜に優れた付着性を発揮 ・1液性で取扱いが容易、塗装時のタレもなく作業性に優れる
上塗り	BOT new SP (水溶性)	<ul style="list-style-type: none"> ・遮光、遮熱、結露抑制、建物劣化防止効果あり ・優れた弾力性、伸び、付着性があり、クラック等をカバー ・防汚効果 ・抗菌、消臭効果 ・水性の為危険物取扱いや有機溶剤中毒の心配がない ・VOC成分が少なく臭いも少ない

2. 施工基準 (平場の場合)

工程	下塗り	上塗り(1)	上塗り(2)
商品名	BOT SP シーラー	BOT new SP	BOT new SP
塗布回数	1	1	1
塗布量 施工面積	0.16kg/m ² 87.5m ² /缶	0.15kg/m ² 100m ² /缶	0.20kg/m ² 75m ² /缶
塗布方法	ローラー、吹付け、 刷毛等	ローラー、吹付け、 刷毛等	ローラー、吹付け、 刷毛等
色調	透明	淡彩色	淡彩色
塗布間隔 20℃	3時間以上	3時間以上	3時間以上
荷姿	14kg/缶	15kg/缶	15kg/缶

塗布量・施工面積は、ウールローラーを基準に作成

窯業建材面

3. 施工方法

(1)下地処理

- ①旧塗膜の浮き・ふくれ・脆弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去してください。
- ②汚れ・塵埃及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗浄で除去してください。
- ③下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)

(2)BOT SP シーラー塗布

- ①下地は十分に乾燥させてください。セメント系下地の場合、レイタンス、エフロレッセンスなどを除去してください。
- ②段差、巣穴、ひび割れ及びボード類のジョイント部などはパテ等で平滑に調整してください。
(ただし、外部のパテ使用は不可)
- ③開封前に左右によく振り、攪拌させて下さい。一斗缶の場合は電動攪拌機の使用をお勧めします。
- ④BOT SPシーラーを取り出し、ローラー、吹き付け、刷毛等で塗装して下さい。
- ⑤吸い込みの激しい面などは、2回塗りしてください。

(3)BOT SP塗布

- ①BOT SP シーラーを塗布して3時間以上経ってから塗布して下さい。
- ②開封前に左右によく振り、攪拌して下さい。一斗缶の場合は電動攪拌機の使用をお勧めします。
- ③BOT new SPを取り出し、ローラー、吹き付け、刷毛等で塗装して下さい。
- ④必ず2回に分けて塗布して下さい。一度に厚塗りすると塗膜面に亀裂が発生します。
- ⑤標準塗布量は塗膜厚確保のため、42.8㎡/缶を目安に塗布して下さい。
- ⑥BOT new SP塗装後に空缶確認を行い、指定量が塗布されていることを確認してください。

■施工上の注意事項

- ・気温5℃以下、湿度85%以上または降雨・降霜・結露などが懸念される場合は、塗装を避けて下さい。
- ・塗料は十分に攪拌してから使用してください。うすめすぎは、かすれ・仕上り不良などの原因になりますので注意してください。
- ・希釈は清水で、5%を限度としてください。
- ・他のトップコートは塗布しないでください。(放熱効果を保持するため)
- ・かすれ、塗り残しなどがないように均一に塗装してください。各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- ・塗布量は、標準的な数値です。被塗物の形状や下地の状態・塗装方法などによって増減することがあります。
- ・塗装後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、充分ご注意ください。
- ・塗料の取り扱い時、塗装時は、換気を行って下さい。また塗装後も乾燥のために、換気を充分に行って下さい。
- ・エアレス塗装の場合は、飛散防止に十分注意し、養生を行って下さい。

BOT new SP 施工要領書

～ ビーオーティール ニューSP ～

金属面

屋内、屋外施工

1. 使用材料

塗料名	商品名	特徴
下塗り	BOT SP プライマー (弱溶剤)	<ul style="list-style-type: none"> ・BOT SP専用プライマー ・各種下地および旧塗膜に優れた付着性を発揮 ・無希釈で塗装でき、取扱いが容易 ・活膜の旧塗膜をリフティング、溶解させることなく安心して塗装が可能 ・防錆効果 ・塗料用シンナー可溶タイプで、臭気はマイルド
上塗り	BOT new SP (水溶性)	<ul style="list-style-type: none"> ・遮光、遮熱、結露抑制、建物劣化防止効果あり ・優れた弾力性、伸び、付着性があり、クラック等をカバー ・防汚効果 ・抗菌、消臭効果 ・水性の為危険物取扱いや有機溶剤中毒の心配がない ・VOC成分が少なく臭いも少ない

2. 施工基準 (平場の場合)

工程	下塗り	上塗り(1)	上塗り(2)
商品名	BOT SP プライマー	BOT new SP	BOT new SP
塗布回数	1	1	1
塗布量 施工面積	0.15kg/m ² 106.6m ² /缶	0.15kg/m ² 100m ² /缶	0.20kg/m ² 75m ² /缶
塗布方法	ローラー、吹付け、 刷毛等	ローラー、吹付け、 刷毛等	ローラー、吹付け、 刷毛等
色調	白色	淡彩色	淡彩色
塗布間隔 20℃	3時間以上	3時間以上	3時間以上
荷姿	16kg/缶	15kg/缶	15kg/缶

塗布量・施工面積は、ウールローラーを基準に作成

金属面

3. 施工方法

(1) 下地処理

- ① 旧塗膜の浮き・ふくれ・脆弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去してください。
- ② サビは、金属素地が露出するまで処理してください。
- ③ 汚れ・塵埃及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗浄で除去してください。
- ④ 下地は十分に乾燥させてください。

(2) BOT SP プライマー塗布

- ① 下地は十分に乾燥させてください。
- ② 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- ③ 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- ④ 取扱作業所には、局所排気装置を設けてください。
- ⑤ 開封前に左右によく振り、攪拌して下さい。一斗缶の場合は電動攪拌機の使用をお勧めします。
- ⑥ 粘度調整が必要な場合は、塗料用シンナーをご使用ください。尚、希釈は5%以内としてください。
(過剰の希釈は、乾燥が遅れ、たるみを生じますので注意してください)
- ⑦ 清水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ⑧ 強溶剤などで希釈しますと旧塗膜を侵す場合がありますので注意してください。
- ⑨ BOT SP プライマーを取り出し、ローラー、吹き付け、刷毛等で塗装して下さい。
- ⑩ 塗布量が少ないと、防錆性及び接着性が低下しますので、必ず標準塗布量を塗布して十分な膜厚を確保してください。エッジ部、凹凸面(40 μ m以上)などは増し塗りしてください。
- ⑪ 使用後の塗装器具は、できるだけ早く塗料用シンナーで洗浄してください。

(3) BOT new SP 塗布

- ① BOT SP プライマーを塗布して3時間以上経ってから塗布して下さい。
(硬化が不十分な場合、再溶解する場合があります)
- ② 開封前に左右によく振り、攪拌させて下さい。一斗缶の場合は電動攪拌機の使用をお勧めします。
- ③ BOT SPを取り出し、ローラー、吹き付け、刷毛等で塗装して下さい。
- ④ 必ず2回に分けて塗布して下さい。一度に厚塗りすると塗膜面に亀裂が発生します。
- ⑤ 標準塗布量は塗膜厚確保のため、42.8 m^2 /缶を目安に塗布して下さい。
- ⑥ BOT SP 塗装後に空缶確認を行い、指定量が塗布されていることを確認してください。

■ 施工上の注意事項

- ・気温5 $^{\circ}$ C以下、湿度85%以上または降雨・降霜・結露などが懸念される場合は、塗装を避けて下さい。
- ・塗料は十分に攪拌してから使用してください。うすめすぎは、かすれ・仕上り不良などの原因になりますので注意してください。
- ・希釈は5%を限度としてください。(プライマーは塗料用シンナーで、new SPは清水で希釈してください)
- ・他のトップコートは塗布しないでください。(放熱効果を保持するため)
- ・かすれ、塗り残しなどが無いように均一に塗装してください。各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- ・塗布量は、標準的な数値です。被塗物の形状や下地の状態・塗装方法などによって増減することがあります。
- ・塗装後に結露を生じると、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、充分ご注意ください。
- ・塗料の取り扱い時、塗装時は、換気を行って下さい。また塗装後も乾燥のために、換気を充分に行って下さい。
- ・エアレス塗装の場合は、飛散防止に十分注意し、養生を行って下さい。

BOT new SP 施工要領書

～ ビーオーティー ニューSP ～

● 取扱い上の注意事項 ●

- ・取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
(防塵マスク、保護めがね、長袖の作業衣、保護手袋など)
- ・容器からこぼれた場合は、土砂等を吸着させて空容器に回収して産業廃棄物として処理してください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時は、医師の診察を受けてください。
- ・目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・取扱い後は、手洗い、うがいを十分に行ってください。
- ・残り材料は、しっかりとフタをし、直射日光を避けて、冷暗所に密閉して保管してください。
(凍結・高温厳禁)
- ・容器は蜜栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所に定めて保管ください。
特に下記場所の保管は避けてください。
(雨水や直射日光の当る場所・高温多湿の場所・潮風の当る場所・凍結の恐れのある場所など)
- ・本来の目的以外に使用しないでください。
- ・使用済みの容器は、産業廃棄物として処理してください。
- ・詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。